

○ 成田就航LCCの欠航状況（平成24年度）

7～9月 総便数 2,436便 欠航便 66便 欠航率 2.71%
10～12月 総便数 4,431便 欠航便 62便 欠航率 1.40%

○ 地元説明会の開催や議会等への出席状況

49回（うち、国が出席したものは32回）（平成25年3月12日現在）

○ 住民説明会における主な意見（3/27 空港圏自治体連絡協議会での千葉県資料より）

【主な意見】

- ・睡眠時間が削られ、健康被害が懸念される。
- ・なし崩し的な運用の拡大につながるのではないか。
- ・22時台10便の約束が守れなくなるのではないか。
- ・経済面だけでなく騒音下の住民のことをもっと考えてほしい。
- ・空港の恩恵を受ける地域とマイナスの影響を受ける地域の格差がますます広がる。
- ・ペナルティは地域で割合に差を設けるべきである。
- ・早朝は現状どおりでよいのではないか。
- ・1時間ではなく30～15分程度にすべきではないか。
- ・情報公開をきちんと行ってほしい。
- ・なぜこんなに結論を急ぐのか。もっとじっくり意見交換すべきである。

【その他意見】

- ・30万回時の要望を確実に実施するのが先である。
- ・まずLCCが努力すべきである。
- ・対象事由は非常に項目が多く、説明のあった便数にとどまるとは到底思えない。
- ・反対意見はきちんと反映されるのか。
- ・緊急事態であれば問題ないのではないか。
- ・交付金をもらっているから空港会社にあまり文句が言えないということでは困る。
- ・30万回に加えて騒音対策を行うと提案すべきではないか。

○ オープンスカイ化関連諸施策

- ・27万回化のための施設整備（誘導路、駐機場の整備等）（25年3月7日供用開始）
- ・ノンストップゲート化に向けた実証実験（25年3月18日から約2ヶ月間）
- ・離発着制限（カーフェュー）の弾力的運用（25年3月31日から実施）
- ・空港コストの引き下げ（25年4月1日から実施）

国際線着陸料引き下げ

国際線BHS（手荷物取扱施設）使用料の区分見直し及び引き下げ

国際線の新規就航又は増便へのインセンティブ（増量割引）の導入